



October 25.2010

No.105



かんだ

kanda

議会だより



9月定例会

平成21年度決算報告	2~3
一般会計補正予算他	4~7
ズバリ町政を問う(一般質問)	8~19
輝け青春	20



白川小学校運動会

- 平成21年度決算の認定について
- 一般会計
 - Q町長交際費が年々減っているが、陳情などはやっているのか。
 - A交際範囲が減っているのではなく、内容によっては厳しく吟味して陳情を行い、町政発展のため努力している。
 - Q新北九州空港利用促進協議会負担金の事業内容は。
 - Aチャーター便の誘致。国際線準備推進等の業務を進めている。企業・団体・住民に対するPR活動、国際航空貨物を推進。
 - Q住基ネットワークは、管理保守委託料が500万円超。住民サービスには必要なのか。
 - A他自治体も本町と同じく低い。高齢者の身分証明書として使われている。
 - Q人権推進費負担金への算

- 出額はどのようにして決めるのか。
- Q町長会の中で今後、検討していく。
- Q放課後児童対策事業委託料について、新たにできる子ども広場事業との整合性はどうとるのか。
- Q児童保育は、働いている保護者の子供で3年生までが通える事業と、児童保育対象外の子供たちが、子ども広場になる。地域の方たちにとくさん入っていたら、社会ルールを学ぶ安全な施設づくりを検討している。
- Q総合保健福祉センター（パシージュプラザ）の雨漏り箇所は。
- Q14カ所。
- Q総合福祉会館の入浴サービスが中止になってからの利用状況は。
- Q7月の状況を前年度と比較すると、1,700人の増

- Q新築される休日急患センターの負担金はふえるのか。
- Q今後、議会で説明したい。
- Q緊急雇用創出事業委託料の内容は。
- Q雇用3名。町全域で605名のひとり暮らし高齢者の実態調査を行った。
- Q消費生活問題相談員に、どのような相談が入っているのか。
- Q多重債務者は、より深刻になっている。解決するために必要な機関に連絡している。
- Q道路新設改良費について、対象になる補正を組まずに流用し続けていると監査から二度も指摘されている。なぜ毎年監査から指摘されていることを繰り返すのか。
- Q担当課と議会でチェックをしなければならぬものとのずれが生じている。
- Q外国仕組み債の問題が出て、初めての決算である。運用自体、適切だったのか。
- Q現在の結果を見ると適切だったとは思えない。十分検討し、見直しをしていき

- 国民健康保険特別会計
 - Q法定外繰入金は医療費との兼ね合いで一般会計から入れ続けているが、2016年に団塊の世代がピークを迎える。対策はとっているか。
 - A団塊世代の対策をとるよう計画している。
 - 老人保健特別会計
 - 後期高齢者医療特別会計
 - 介護保険特別会計
 - 苅田町土地画整理事業特別会計
 - 苅田町住宅新築資金特別会計
- 臨空産業団地開発事業特別会計
 - Q臨空産業団地は残地があるのではないかと。
 - A2区画残っている。1区画は町で利用する。
 - Q※プロポーザル方式で業者に売却したが、計画どおりなのか。
 - A計画通りではなく、2年間猶予している。
 - Q他の事例もあることだから、はじめははっきりとつけてほしい。最初の計画と違うということを業者に認

- 農業者集落排水は、地元の方たちの大きな願いでもあった。計画を進めてきたが、今になって迷惑施設であると言われているが。
- Q十分説明し、よりよい方向に持っていきたい。
- Q下水道の決算書を見ると、効率が悪い。他の自治体と比べても効率が悪いと出ている。
- Q対比させた施設とは算出方法が若干違う。
- 水道事業会計について
 - Q一般会計からの繰入金は、認められていないのか。
 - A普通は認められていないが、総務省から特別の場合、公営企業に対して赤字補てんとして繰り入れを認められている。

※プロポーザル方式「主に業務の委託先や建築物の設計者を選定する際に、複数の者に目的物に対する企画を提案してもらい、その中から優れた提案を行った者を選定すること。」

決算特別委員会報告



決算特別委員長

梶原 弘子

どう活かされた 私たちのお金!!

平成21年度決算を認定

決算議会
9月定例会

平成21年度 一般会計

歳入	154億3,969万円
歳出	129億3,492万円
繰越金	2億8,233万円
実質収支	22億2,242万円

町民1人当たり
374,179円

〈一般会計のなかみ〉
町の予算はこのように使われました

住基人口 34,569人(平成22年3月31日)

●民生費 95,833円	●総務費 64,968円	●土木・災害復旧費 59,470円	●衛生費 43,080円
●教育費 43,072円	●公債費(借金返済) 34,401円	●消防費 12,437円	●農林水産費 9,596円
●商工・労働費 5,465円	●議会費 4,450円	●諸支出金(積立金ほか) 1,406円	■町債(借金)の累計残高 一般会計 132億1,172万円 上下水道事業 53億5,662万円 特別会計 4,907万円 ■基金(預金)の累計残高 48億4,709万円

平成22年第5回定例会は、9月7日から27日までの21日間の会期で開かれました。この議会には平成21年度決算、補正予算、条例の改正、人事案件等30件の議案が提出されました。決算は決算特別委員会に付託され2日間にわたって慎重審議の上、本会議で認定されました。

住民サービスもっと便利に!

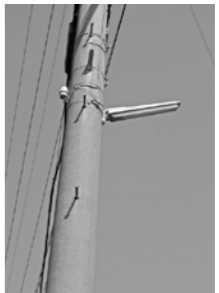
住民票・印鑑証明書の自動交付機を設置



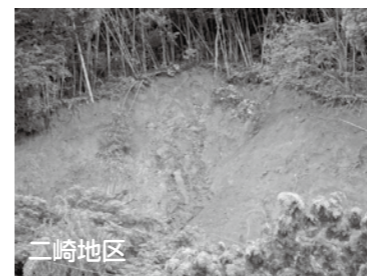
地域商品券発行700万円



防犯灯設置補助 250万円



豪雨災害復旧 3,300万円



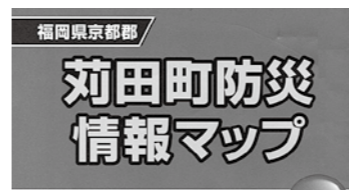
9月定例会(7日~27日)は
一般会計補正予算(二億二千万円追加)
ほか30議案を可決

総務 常任委員会報告



総務常任委員長
坂本東二郎

委員会に付託された議案2件は慎重審議の結果、可決した。
●平成22年度苅田町一般会計補正予算(第5号)
特段の意見、質疑なし。
●苅田町火災予防条例の一部を改正する条例の制定
特段の意見、質疑なし。



産業建設 常任委員会報告



産業建設常任委員長
三原 茂

●地域振興券発行事業補助金が計上されているが、利用先として、住宅リフォーム等にかかわる業者は参画できないのか。
●商工会議所に会員登録されている企業、事業者なら、参画できる。
●商品券を換金する際、閉庁時間が早く、また手続が複雑なため、参画しづらいとの意見が出されている。

予算(第2号)について

●南原浄水場の法面の復旧工事費が計上されているが、被害状況及び工事の方法は。
●配水池の法面が、高さ10メートル、巾が約7メートル崩壊した状況であり、法面崩壊を防ぐために蛇かごを設置する。
●町道路線の廃止について

委員会に付託された議案7件は慎重審議の結果、可決した。
●平成22年度苅田町一般会計補正予算(第5号)

●労働費
●緊急雇用創出事業費において、管理業務及び地域振興を目的とした苅田町PR事業の5名、雇用対象はすべて町民なのか。
●原則として町民を採用する。
●農林水産費
●5件の水路改良工事費が計上されているが、具体的にどこか。
●白石、二崎、新津地区が1件及び、谷地区が2件。

●二崎地区においては、大雨時の満潮時には、たびたび農用地が浸水しているが、地元より町に改善してほしいとの要望があるのか。
●要望は出されていない。
●商工費



改良が待たれる農業用水路

●平成22年度苅田町土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)について
特段の質疑、意見なし。
●平成22年度苅田町下水道事業会計補正予算(第1号)について
特段の質疑、意見なし。
●平成22年度苅田町水道事業会計補正

●JR工事協定締結について
変更が生じた理由は。
●20本のボックスルーフを埋設する際、当初機械掘りの予定だったが、れき等が出てきたので人力で掘削せざるを得ない。また、ボックスを設置する際、当初昼間の工事を予定していたが、地番を固めるための薬品を投入した際に軌道が浮き上がる可能性が出たため夜間工事に変更した。

厚生文教 常任委員会報告



厚生文教常任委員長
友田 敬而

委員会に付託された議案11件は慎重審議の結果、可決した。
●町民プールの建設工事・機械設備工事・電気設備工事について

●一般競争入札を導入したことは、公正・公平・公明の確保のためであったと思う。ほぼすべての企業が最低価格での応札となり、競争原理が働かない結果となったのではないか。
●厳しい経済状況を受けての結果と受けとめている。今後入札のあり方を議会ともよく協議し、見直しも含めて考えていきたい。
●最低価格の積算根拠は。
●公共工事の積算資料に基づいて基準価格を定め、最低価格を算出した。
●地場企業の参入をどう考えるか。
●外構工事等は地場企業への発注が可能との観点から、工事を分けて発注する。

- 意見書案第13号
ヒプワクチンの早期定期予防接種化を
求める意見書(案)……可決
- 意見書案第14号
子宮頸がんの予防措置実施の
推進を求める意見書(案)……可決
- 意見書案第15号
国の責任で青年の雇用確保を
すすめることを求める意見書(案)……否決
- 意見書案第16号
公共交通機関への支援を含む総合的な
交通体系の構築を求める意見書(案)……可決

第5回 定例会

- 議案第61号
平成22年度苅田町一般会計補正予算(第4号)……可決
- 議案第62号
専決処分について(平成22年度苅田町一般会計
補正予算(第3号))……承認
- 議案第63号
専決処分について(平成22年度苅田町水道事業会計
補正予算(第1号))……承認

第4回 臨時会

平成22年8月9日に開催され、3議案は慎重審議の結果可決された。

- 追加工事の可能性は。
 - 入札仕様書に書かれている特記事項に基づいて今後対応したい。
 - 環境に対する世界的な状況を踏まえ、太陽光を始めとする自然エネルギー活用を姿勢を示す苅田町の象徴的施設にしてみたい。
- 平成22年度苅田町一般会計補正予算(第5号)について
 - 民生費
 - 生活サポート事業委託金及び日中一時支援事業委託金について増額の理由は。
 - 利用者の増加。原因は不明である。
 - 補装具費について、増額の理由と原因は。
 - ① 昨年の利用実績に達しているため増額である。耐用年数に達しても継続して使用していたが、法改正により、個人負担がなくなったため、買いかえが増えている。
 - ② 総合保健福祉センター建物内外部調査委託料について、修理計画設計も含まれているのか。
 - ③ 含まれていない。
 - ④ 建設後、余りに早い総合的な調査委託であるが、管理が不十分だったのでは。
 - 認識はある。
 - 補修工事の工程は。
 - ① 調査は5週間程度で、改修計画にそって来年度予算に計上したい。
 - ② 教育費
 - ③ 南原小学校運動場の芝生の年間維持管理は。
 - ④ 2ヶ月しか経過していないので不明。現在、肥料代二万円。
 - ⑤ 少人数教育費の旅費について。
 - ⑥ 町雇用教師の部活引率旅費。
 - ⑦ 文化財保護費の使用料及び賃貸料について、場所は。
 - ⑧ 若久3丁目一帯の若久遺跡群である。
 - 平成22年度苅田町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について
 - ① 治療給付費等負担金の返還対象は高額医療費か。
 - ② 高額医療費だけでなく、全般の医療費についての還付金である。
 - ③ 苅田町老人保健特別会計補正予算(第1号)について
特段の意見、質疑なし。
 - ④ 苅田町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について
特段の意見、質疑なし。
 - 平成22年度苅田町介護保険特別会計補正予算(第2号)について
 - ① 介護給付費準備積立基金の内容は。
 - ② 21年度決算に伴う繰越金の処理。
 - ③ 利用者が少ないのでは、また低所得者の利用手控えが積立金の理由では。
 - ④ 繰越金発生理由は不明。
 - ⑤ 苅田町住民基本台帳カードの多目的サービス利用に関する条例の制定について

人事案件

- 苅田町教育委員会委員に
石村 國 芳氏
を任命することに同意。
- 人権擁護委員に
大重 吉 子氏
を推薦することに同意。

広報研修レポート

研修では町民や町民グループの活動紹介、また町民の意見を取り入れるなど議会活動への住民の関心を高める工夫の必要性、写真やグラフを入れたものにするなどレイアウト技法についても学び、またキャッチフレーズが大切であると提言され、あらためて再確認しました。



芝生化された南原小学校の中庭

- ① 苅田町手数料条例の一部を改正する条例の制定について
- ② 住基カード及び印鑑登録カードの切りかえについての対応は。また夜間対応は。
- ③ 利用促進のためには重要と認識している。各公民館等に出張しての対応を行いたい。夜間対応は現在考えていないが、要望等状況に応じて柔軟に対応したい。

夜間議会(9月15日)



夜間議会に約80名の方が傍聴に来て頂きました。ありがとうございました。

みなさん議会傍聴に来てください

9月議会は
150名の
傍聴者が
ありました

12月定例会の予定

12月7日(火)から
一般質問は12月14日(火)・15日(水)・16日(木)
《開催時間》10時から17時 受付は庁舎6階
問い合わせは議会事務局
☎ 093-434-1981

ズバリ 町政を問う!!

一般質問は、11人が登壇 一問一答

木原 洋征 議員.....9
 1. いのちと暮らしを守る国保に
 2. 子どもたちを守る手立ては
 3. 自然エネルギー発電に対する奨励施策を
 4. 住民要求と行政区

友田 敬而 議員.....10
 1. 地域コミュニティをどう守るのか

小山 信美 議員.....11
 1. 豪雨災害に対する危機管理
 2. 健康を守るための施策について
 3. 子宮頸がんワクチンの公費助成

梶原 弘子 議員.....12
 1. 福祉医療費助成制度の充実を願う
 2. 住みやすい町づくりについて
 3. 荻田霊園の運営について
 4. 住宅リフォーム助成制度の実現を望む

林 繁実 議員.....13
 1. 町づくり全般について

伊塚 弘 議員.....14
 1. 第4次荻田町総合計画策定にあたり、議会審議を
 活発化させるべき
 2. 最近の見聞と行政の取り組みを問う

三原 茂 議員.....15
 1. これからのまちづくりについて

白石 学 議員.....16
 1. 行政評価について
 2. 大雨対策について (危機管理)
 3. 児童虐待について

富安 正直 議員.....17
 1. 志に立脚した学力向上を
 2. パンジープラザ建設事業の反省点
 3. プール建設事業の今後は

梶谷 忠明 議員.....18
 1. 与原土地区画整理事業について
 2. J R小波瀬西工大前駅の改修について

常廣 直行 議員.....19
 1. 行政改革の目標
 2. 災害への備え
 3. 道路・交通政策

※掲載は登壇順

詳しくは議会HPの議事録をご覧ください。 <http://www.town.kanda.lg.jp/gikai/gikai.htm>

Q 猛暑の教室にエアコンを A 今後温暖化が進めば検討する

**自然エネルギー発電に
対する奨励施策を**
Q 太陽光発電に対する補助金制度を町内事業者の登録とあわせて実施すれば、町民が安心して発注でき、地域の活性化につながるのでは。
A 実施の方向で、現在検討中。

Q 自治会には介入できない。が違うときは、双方の事情を聞いて対応を願う。
A 自治会には介入できない。の世帯が保護を受給せずに低所得で生活している。生活保護世帯と同等か以下の収入で、国保税を払い、医療費が払えるのか。
A 一般的には支払いが難しい方がいる。

Q 低所得者の生活実態はますます厳しくなっている。実態把握はできているのか。
A 個別に対応している。

Q 厚生労働省からの医療費の窓口負担減免の通知はしたのか。
A 基準が示されれば本町においても、生活困窮者に対し、きめ細かい対応をした。

Q 国庫負担額が減少し、国保税が倍増している。国に負担額を元に戻すように要望すべきではないか。
A 町として考えていく。

住民要求と行政区
Q 地域住民と自治会の意見



日本共産党
木原 洋征 議員

子どもたちを守る手立ては
Q 教室の温度調査結果は与原小が36度。また、小学校の猛暑の影響は、①暑さのため気分が悪くなる、児童がいる。②「汗だくで給食の食べ残しが増えた」と報告されているが、このような環境で学習できるのか。
A 来年度は、学校環境の見直しに全面的に取り組む。

Q 最近受けた相談事例は、以前から症状が出ていたが、国保税を滞納し受診ができなかった。最悪の状況で受診したが医師からこんなになるまでなぜ放置していたのかと言われ、手術を受けた。最悪の状況は脱し、抗がん剤による治療を受けている。この様な事態に本町として何ができるのか何とかしなければならぬ。
A そのような事態にならないように早めの相談をしていただきたい。

Q 乳幼児の虐待防止や、共働きの増加による4年生以上の子どもたちの安全のために児童館が必要では。
A 来年度より、4・5・6年生については学校を利用した居場所づくり事業を実施する。



新津中学校吹奏楽部



公明党 小山 信美 議員

- Q** 防災マップの作成配布は。
- A** 新たに作成し各戸に配布。
- Q** 今回の豪雨災害の被害状況と件数は。
- A** 床上浸水4件、床下が24件、道路冠水箇所15件、道路損壊3件、土砂災害等31件。
- Q** 基本的な考え方の上には、もう一方で町民の命を守るという立場の考えは。
- A** 今回の配備は、全職員。

ATL どんないびき?
HTLV-I (human T-cell leukemia virus type I) から赤ちゃんを守りましょう。

HTLV-I (human T-cell leukemia virus type I) の概要について

- ATL (成人T細胞白血病) は、HTLV-I (human T-cell leukemia virus type I) というウイルスによっておこる病気です。
- お母さんがこのウイルスを持っていると、授乳等によって赤ちゃんに感染する可能性があります。
- 妊婦さんがウイルスを持っているかどうか調べるためには、血液検査をする必要があります。
- このウイルスは、エイズとまったく関係がありません。
- 詳しいことは産科もしくは小児科の主治医の先生におたずねください。

※ATL(成人T細胞白血病)は、HTLV-1 (human T-cell leukemia virus type I) というウイルスによっておこる病気です。

- Q** 第三配備まで機動した。
- A** 二崎地区の排水問題は、なんらかの対策を講じなければと思う。今後検討する。
- Q** 公用車や消防車での広報活動について聴覚障害者への対応は。
- A** 会議の中で検討する。
- Q** 先進地事例等の情報収集
- A** 携帯メールの利用は。
- Q** 学校から要望があれば検討したい。
- Q** 65歳以上のひとり暮らしの高齢者のみ1,583人。
- Q** 北九州市が取り組んでいる「命をつなぐネットワーク」については。
- A** ネットワークづくりの必要性は認識している。もっと規模を広げたものを構築していくべきだと思う。
- Q** 消防隊員の助けになる情報セットの導入については。
- A** 先進地事例等の情報収集

- Q** 子宮頸がんワクチンの公費助成を
- A** 無料クーポン券による受診率の変化は、平成20年度は14・85%で約3%強のアップ。クーポン券での受診者は129人。
- Q** 報道で一部助成とあったが。
- A** 来年度より公費助成の予定である。

- Q** 健康を守るための施策
- A** ※成人T細胞白血病についての認識は。
- Q** 西日本を中心とする風土病であるが、全国的にできてきている。広報啓発で今以上に強化していきたい。
- Q** お知らせチラシは。
- A** 保健師が手作り。母子手帳発行時に説明している。
- Q** 相談体制、相談窓口は。
- A** 一時的にはパンジープラザの健康づくり係を考えている。

防災時要援護者の避難支援対策は

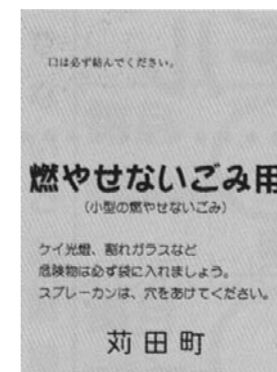
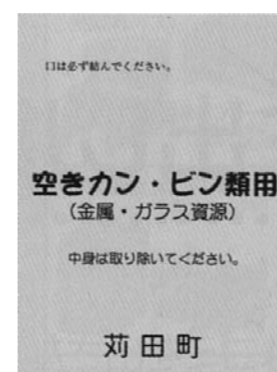
災害時要援護者避難計画に基づき支援する

- Q** 携帯メールの利用は。
- A** 学校から要望があれば検討したい。
- Q** 65歳以上のひとり暮らしの高齢者のみ1,583人。
- Q** 北九州市が取り組んでいる「命をつなぐネットワーク」については。
- A** ネットワークづくりの必要性は認識している。もっと規模を広げたものを構築していくべきだと思う。
- Q** 消防隊員の助けになる情報セットの導入については。
- A** 先進地事例等の情報収集

ゴミ袋の全世帯配布の法的根拠は

無い。慣例で配布している

- Q** 行政の中で自治会(区)の位置づけは。
- A** 行政サービスの担い手として、駐在員制度を通じて、様々な業務をお願いしている。
- Q** 自治会に加入していない方への行政サービスは。
- A** 各駐在員(区長)にお願いをしているが、特に行っていない。
- Q** 駐在員の報酬算出方法は。
- A** 基本額+自治会加入数×単価である。
- Q** 駐在員の業務範囲を自治会に加入している方と認識しているのでは。
- A** 積極的には認めていない。行政サービスを駐在員制で行っている。
- Q** 今、区長の最大の悩みは自治会への加入者減である。自治会加入に対する支援は。
- A** 住民課でパンフレットを差し上げ加入促進を行っている。
- Q** 自治会加入によるメリットが具体的な形で見えづらい。何か考えはないのか。
- A** 意識の向上、変化をお願いするしかない。
- Q** 私は自治会加入者へのメリットとして、町配布のゴミ袋の配布先の限定を提案したい。
- A** 町民全体へのサービスと捉えている。
- Q** ゴミ袋配布に関する条例規則は。
- A** 無い。
- Q** ゴミ収集に関して町配布のゴミ袋に関する規定は。
- A** 無い。



- Q** 全世帯配布の法的根拠はないが慣例として継続していきたい。
- A** 本町は大企業進出の優遇措置として、固定資産税相当額の免除を行っている。町発展のために協力してくれた者への特典が認められるなら、行政サービスへの協力者に何らかの特典があってもいいのではないか。



清明会 友田 敬而 議員

安心して暮らせる町づくりをめざして

自治会(区)への加入をお勧めします。

安心して暮らせる町づくりの第一歩は地域の人々が気懸けにあいさつし、ふれあい、話し合うことではないでしょうか。新築中継ぎ地でも地震直後の隣近所の声のかけ合い、助け合いが多くの命を救い、多くの人の助けになったといわれています。そうした活動の基本になったのが自治会です。

自治会(区)は一定の地域住民のみならず自主的に結成された団体です。町とお互いに連携を取り合い、防災活動や環境美化活動、文化・ふれあい活動など、みなさまの思いが活かされるまちづくりに参加しています。

防犯・防災活動 防犯灯の維持・管理 交通安全運動	環境美化活動 環境美化の日(清掃活動) ごみ置き場の管理や資源回収活動
文化・ふれあい活動 子ども会の活動 地域のお祭りや福祉活動	広報活動 回覧板などによる地域の生活情報の提供

※活動内容は、自治会(区)によって異なります。

自治会(区)に加入するときは、お近くの自治会(区)役員の方にお申し出ください。

※自治会(区)により、自治会(区)が異なる場合がありますので、くわしくは、ご近所の方にお尋ねください。

苅田町区長連合会



安立会 林 繁実 議員

Q 1年の計は麦を植えることにあり。10年の計は樹を植えることにあり。100年の計は人を植えることにあり。これは山本有三の書いた米百俵からの言葉であるが、この意味は人材を育てることであり、教育である。平成13年に第3次荊田町総合計画が立案、まちづくり21世紀プラン2001〜2010として提言され。

A この内容の実現を、町独自の教育改革を推進してきたと理解する。平成17年から平成22年へ荊田町第1次教育プログラムが策定され平成18年には教育特区が認定された。本年22年はこの教育改革の仕上げを迎える。教育長はリーガルマインドについてどのように考えているか。

A 私自身、十分な対応ができ

荊田町のまちづくりを 全体にひろって 郷土を愛する人材育成・人づくりである

Q リーガルマインドの意味を知っているか。答弁が全然違う。法律の適用に必要なとされ、柔軟、的確な判断が基本である、これを守れという事である。

A 深く考えた事がない。

Q 私の壇上質問は答まで出している。心の琴線に触れる教育指導を教育委員会に生かせれば、私はいい事だと思ふ。トップリーダーとして何をするかを聞きたい。

平成19年、馬場小と南原小172人に教科担任制度のアンケートをとっている。この授業が好きだ、わかりやすい等が90%近い数字が出ている。これをどう生かし



将来を担う子ども達

Q 子供たちが授業の中で、姿勢として返してくれると思う。

A アンケートを知らないから知らない。お互い丁寧に発しよう。

教育経営と企業経営はどう違うか。

A 基本的には一緒だと思う。

Q 相違点は教育委員会は公務員。倒産、競争がない。

開発力が乏しい。進歩がなくても存続できる。費用対効果、危機意識が大事だ。企業は倒産がある。常に競争の中にあり、アイデアが勝負。危機意識が強い。共通点は公共性を持つ。教育長はこれらの基本的認識を経営能力を身につけて人材育成するのを見た事がない。危機感が乏しいから、説得力がない、努力もない。

町独自の寡婦医療制度の 施策を願う

Q 県寡婦医療無料制度は国の制度改悪によって9月に休止予定、本町ではこの制度の利用者は。

A 対象者は114名いる。

Q 他自治体は60歳から70歳までの人達に医療助成補助制度を創っているが、本町でもとりくめないか。

A 他自治体の事例を見ながら今後検討する。

Q 住みやすい町づくりを

A 県開発の白石工業団地にメッキ工場ができていてとて約束が違うと立看板を立てられているが。

A 当初県企業局が公害を発生させる恐れのある企業は、誘致しないといったことが



日本共産党 梶原 弘子 議員

一番問題になっている。

Q 丁寧な話し合いを望むが。

A メッキ工場イコール公害企業だというものではない。県と企業も入って地元説明会2回、役員会1回開催し真摯に説明した。

Q 町は企業と環境保全協定締結に向けて準備中と言ったが内容は。

A 企業と町が環境を守るために環境保全協定を結び、通常の保全協定より厳しいものである。



Q 地元住民はまだ不安が続く、誠意をもって対応していただきたい。

A 工場排水は蒸発散方式にし、一滴も出さない。今後は水質の検査、臭気、ばいじんをしっかり検査して、白石地区の皆さんに安心していただく。

かんだ霊園の 運営について

Q この墓地建設計画は、町内各所にある墓地を一ヶ所に集める、墓地区画整理を

目指したようだが、どうなったのか。

A 当時の事はわからないし、話し合った事はない。

Q 当時、町は墓についてアンケートをとり、墓地数を増して欲しいと多くの願いが寄せられたが。

A 現在283区画あり、この経済状況の中で返還も増えている、区画数は増やさない。

Q 霊園内は高齢者や足の悪い人達にとって歩きにくい、改善を求める。

A 年次計画をたてて、整備を進める予定。

住宅リフォーム 助成制度を望む

Q 3回目の質問、前回調査するとの答弁だったが。

A 県内の助成制度実施団体や、予算状況を調べた。

Q 荊田町もリフォーム助成制度の創設をするのか。

A 効果がどのくらいあるのか心配、今後も検討する。



無党派 三原 茂 議員

Q 経済成長戦略は
 経済成長戦略は、企業を誘致することにより雇用確保していく。次に雇用された人達に住んでいただき財源を確保していく。そして企業を支え生産性を高めることにより、さらなる成長を拡大していくことだと考えているが町長の考えは。
A 総体的には同じである。

Q 本町の将来を担う上で重要な案件は、1点目が日産車体の進出に伴う定住化対策、2点目は航空産業の誘致、本町においては、さらなる飛躍・発展するチャンスを目の前にしてどのように対応していくのか。
A 定住化は、安心して住めるような施策を考えていく。航空産業の誘致について、

Q 本町の経済・景気対策は

A 陸・海・空の整備により活力ある町を目指していく

具体的な政策は、まだ考えていない。

定住化対策は

Q 民間の活力を利用するのが一番だと考えている。開発事業者に対して、ある程度の基準を設けて補助制度をつくるのか、また町外から町内に移転してくれた町民に様々な税制面での優遇措置を考え、小リスクで開発を誘導する方法を検討すべきでは。
A どういう形で行くか検討していきたい。

空港の活用は

Q 航空産業の進出が決まれば空港内の北九州市の用地、

企業の支援策は

Q 先日、セメント協会主催での研修が行われ生産現場も見学。現状と現場の事情について研修され、本町として何か取り組んでいくつもりがあるのか。
A セメント工場を3社抱えている。コンクリートを使っただ道路や建物等も検討して



進出が待たれる航空産業

Q 工業部門での振興政策について何か取り組んでいるのか。
A 企業誘致の際に雇用に対する補助と立地に対する補助を行っている。
Q 既存の企業に対しての支援策は考えられていない。日産の自動車を購入した際に、町独自の助成制度を作り実施することにより、産業基盤の育成、町のPR、雇用の促進にも結びつくと思うが。
A 今後考えていく。



町導入予定の電気自動車

Q 総合計画策定は、基本計画を議会審議の対象とすべき

A 十分協議していく必要がある



無党派 伊塚 弘 議員

Q 総合計画策定の進捗状況と課題
 議会上げはいつか。
A 12月議会を目標にしている。
Q 議会審議を活発化させる為には、基本計画をその対象にすべき。
A 町の将来を決める大事な計画、検討させて頂く。
Q 人口減少時代に本町だけ人口増になるとは考えにくい。将来人口を見直さないか、又見直した場合の影響は何か。
A 平成32年度で4万人を想定している。この人口設定が他の計画に大きな影響を及ぼさないよう進めている。

Q 当初、人口6万人を想定している現都市計画を住民生活を重視し、日産前道路の直進化と行橋市への延伸、グリーンベルトの縮小、休止中のJR貨物線の活用を検討すべきでは。
A 白石地区の生活道路への車の進入問題もあり、県を中心に近隣市町と話を始めていたが全て購入は難しい。
Q 第3次総合計画実施後の課題は何か。
A 環境共生のまちづくり、人と人がつながるまちづくりの分野で評価が低い。
Q 前計画での住民満足度調査によると、身近な生活道路の整備に期待し、行政対応に不満足との結果がある。自治会などの要望は確実に実施すべき。



Q 下水道の計画区域は、JR日豊線西側について検討を重ねている。生活道路や水路の整備については、予算の範囲でできる限り早く整備していきたい。
Q 地域防災に積極的に取り組んでいる区があるが、今後の防災計画に地域との連携強化を念頭に検討すべきでは。
A 最も大きな課題の一つだと思う。地域の自主防災制度をもっとしっかりと整備する必要がある。

Q 町内外で見聞した事例に対する行政の対応について
Q 平成21年度決算監査において、経常経費の削減、補助金交付事務について指摘されていることへの対応は。
A 行財政改革を検討するなかで取り組む。
Q 国民健康保険税の収納率が悪化しているとの指摘に対する対応は。
A 徴収すべきは徴収し、免除すべきは免除していく。
Q 電算システム経費を削減するには、他市町との共同処理を検討すべきでは。
A 今後、本町でも検討課題になる。近隣と話し合う。
Q イノシシ捕獲対策の再検討を。
A 担当課と協議し検討する。
Q 活動できない高齢者対策は。
A ボランティアや近隣の支え合いの仕組みなど強化していきたい。



ニューフォーラム
富安 正直 議員

Q 本町の全国学力テストの今年の成績は。

A 小学校では全国平均を上回る成績だが、中学校では全国平均を下回っている。

Q 中学校が荒れているのも一因。勉強する意味がないと言う生徒もいると聞いている。しかし、人生に志を持っては変わるかもしれない。

A 現在の授業でも集団活動や職場体験活動などを行っており、その中で立志式のような意味や意義について

町営温水プールは 民業圧迫だ 管理業者の選定方法を検討する

Q 本町の全国学力テストの今年の成績は。

A 小学校では全国平均を上回る成績だが、中学校では全国平均を下回っている。

Q 中学校が荒れているのも一因。勉強する意味がないと言う生徒もいると聞いている。しかし、人生に志を持っては変わるかもしれない。

A 現在の授業でも集団活動や職場体験活動などを行っており、その中で立志式のような意味や意義について



総合保健福祉センター（パンジープラザ）

Q 子供たちの、国や郷土を愛する心にもとづく志が本町の豊かな未来へと続く。是非取り組んでほしい。

Q 子供たちの、国や郷土を愛する心にもとづく志が本町の豊かな未来へと続く。是非取り組んでほしい。

Q 子供たちの、国や郷土を愛する心にもとづく志が本町の豊かな未来へと続く。是非取り組んでほしい。

Q 子供たちの、国や郷土を愛する心にもとづく志が本町の豊かな未来へと続く。是非取り組んでほしい。

A 大きな課題だと認識している。安心・安全を守るため積極的に取り組む。

Q 子供たちの、国や郷土を愛する心にもとづく志が本町の豊かな未来へと続く。是非取り組んでほしい。

平成21年度の行政評価をどう思うか

Q 内部評価は甘くならないか。

A 自己評価であり限界はある。

Q 事業継続という判定になり易いのではないか。

A 評価を厳しくしていく。総合計画の中でも、評価制度を取り入れていく。

Q 平成20年度に、7事業は見直しの判定だ。見直しはしているのか。

A 具体的な進捗状況については、チェックをしていない。

Q 事業の見直し、着手に対するスピード感がありません。

A 費用、期限を示し、極力スピードを上げて、確実に



公明党
白石 学 議員

Q 内部評価は甘くならないか。

A 自己評価であり限界はある。

Q 事業継続という判定になり易いのではないか。

A 評価を厳しくしていく。総合計画の中でも、評価制度を取り入れていく。

Q 平成20年度に、7事業は見直しの判定だ。見直しはしているのか。

A 具体的な進捗状況については、チェックをしていない。

Q 事業の見直し、着手に対するスピード感がありません。

A 費用、期限を示し、極力スピードを上げて、確実に



豪雨で崩落した山林（二崎地区）

Q 住民満足度の調査は行っているのか。

A 行政評価に対する満足度の調査は行っていません。第4次総合計画の中で成果指標を設け公開していく。

Q 事務事業の評価につき住民満足度のアンケートを取り、公表してもらいたい。

A さちんと評価して把握することが大事。第4次総合計画の中で反映させていく。

Q 大雨対策について

A 昨年も、防災無線が機能していない、検討はしたのか。

A 昨年度は、防災無線の活用がなされなかった。今回の大雨では放送した。放送の時期等検討した。

Q ゲリラ豪雨への対策を進めていくべきだ。

A 大きな課題だと認識している。安心・安全を守るため積極的に取り組む。

Q 児童虐待について

Q 直接、町への虐待の報告は何件か。

A 12件である。

Q 「はじめまして赤ちゃん訪問事業」の対象は生後4ヶ月までだ。その後1歳までの対応は。

A 4ヶ月健診がある。実施率は94%強である。

Q 児童虐待の早期発見のためにも歯科医師を「要保護児童対策地域協議会」に入れていく考えはあるのか。

A 口腔衛生状況から、かなりの確率で児童虐待を発見できるので、歯科医師会と協議して委員を派遣して頂く。

Q 本町独自で、虐待防止の方策は考えているのか。

A 独自の研修はしていない。予防という観点から考えていきたい。



ニューフォーラム
常廣 直行 議員

Q 地域主権推進基本法が3年以内に制定される見通しだ。地方自治体として準備しなくてはならないものは。

A 本町は財政的に自立している。独自の施策も可能だ。まだ具体的なことが分からないので国政を慎重に見守っている。

Q 「地域でやれることは地域でやる」という基本的な考え方は国も地域も同じだ。

平成15年から平成17年までに取り組んだ第2次行政改革の基本理念に「町民参画・地域主権・評価」がある。その施策に地域コミュニケーション・活性化事業があり、今でも重要な事業だ。どのように引き継がれ、今後、どう活かすのか。

A 大切な役割を果たす事業だ。新たに設けた地域振興課の業務として進めていく。

地域主権、どう取り組む 権限委譲に対応できる自治体へ

災害への備え

Q 自主防災体制の強化のため、地域消防団の機能と組織の充実が急がれるが。

A 災害時には重要な役割を担ってもらう。今後、組織・装備など充実を図っていく。

Q 女性消防団員は、高齢化や独居老人宅の巡回など日常の予防活動にも力を発揮

する重要な存在になる。今後の育成計画は。

A 女性消防団員は現在4名で、今後も防災巡回などの動員もお願いしていきたい。

Q 今回の水害で地域は混乱した。地域防災計画の運用に問題・課題はなかったか。

A 地域防災計画では対応できず、非常配備に関する一般的基準に沿って行動した。

Q 対応できないなら、なぜ改訂しないのか。一般的基準は周知徹底、教育訓練はできていたのか。

A 改訂は手続き上の問題もあり間に合わない。職員には周知徹底を行った。

渋滞抜け道・通学路を守れ

Q 通学時間に幹線道路から渋滞を避ける車が、通学路を抜け道としている危険な状態だが、その対策は。

A 地域自治会やPTAなどからの要望があれば協議し、警察にも対応をお願いする。

追加予算は活かされるのか
「井場川JR下拡幅工事」

Q 当初契約4億9千万円の工事に追加予算1億4千万円、30%近くも増額されるのは一般常識では納得がいかない。また、費用対効果はどう考えているか。

A JR工事は一般事業と違う取り決めで一方的に決められる。費用対効果は、通学路や駅の周遊道路を確保して、活性化につなげたい。



工事が進む井場川JR下拡幅工事

与原土地区画事業の進捗状況は

換地設計、地質調査、詳細設計が今年度完了予定

Q 与原土地区画整理事業を設置したが審議会は開催されたか。

A 1回目は8月31日に開催。2回目は9月17日を予定。

Q 平成26年で工事終了予定であるが進捗状況は。

A 現在の進捗状況は予定通りである。

Q 埋立てには大量の土砂が必要と聞いている。目処は付いたのか。

A 購入土で賄う予定である。

Q 区画整理が完成すれば、定住化政策にも大きく寄与する。区画整理での計画人口は。

A 検討委員会を立ち上げて検討したい。

Q 町長は荻田駅整備終了したい、小波瀬駅整備に取り組みたいと発言していたが変りないか。

A 変りない。

Q 町内唯一の緊急指定病院である小波瀬病院との連絡通路等も考えていただいたか。

A 検討委員会で考慮したい。

Q 現在の駅は跨線橋まで遠く、高齢者にとって大変不



未来
榎谷 忠明 議員

JR小波瀬西工大前駅 駅周辺開発

Q JR小波瀬西工大前駅はいつも送迎の車が多く、危険な状態が続いている。移設の計画はどうか。

A 本町の定住化政策にとっても大きなインパクトがあると思っている。計画人口は1戸当たり24人で、2,500人である。

便を強いている。また、乗降時に電車の運行を遅らせる原因にもなっている。

A 現在の小波瀬駅は多くの課題、問題が山積している

と認識している。また、周辺の踏み切り、道路などにも問題があると認識している。



整備が待たれるJR小波瀬西工大前駅



輝け青春 クラブ活動

『常昇』心を磨き 人間性を高める

新津中学校吹奏楽部長 宮 本 祐 有

私達の新津中学校吹奏楽部は、1年生11名、2年生15名、3年生9名の計35名で、顧問の先生の指導の下、日々練習に励んでいます。私達は「常勝」と「上昇」の2つを合わせた「常昇」を胸に努力を重ねてきました。今年のコンクールでは、県大会銀賞という悔しい結果に終わりましたが、新津中学校初の定期演奏会を開かせて頂くことになりました。



初の定期演奏会ということで多少不安はありましたが、予想以上の方々足を運んで下さり、より演奏会を盛り上げてくださいました。このような演奏会を開くことができたのも、保護者の方々をはじめ、地域や学校の先生方の協力のおかげです。本当にありがとうございました。

3年生はこの演奏会を最後に引退します。私達が一番悔しかったことは、顧問の先生を普門館（全国大会）のステージに立たせてあげられなかったことです。この思いを後輩達に受け継いでもらい、来年こそは実現してほしいと思います。今後も、新津中学校吹奏楽部の応援をよろしくお願いします。



あとがき

終わりのない夏と感じた猛暑も、心地よい秋風に代わり、季節の移ろいが私たちを包み込んでいます。

町民の無関心を他所に、議会を二分して論議された町長公約の町民温水プール新築工事も先日起工式が行われ、ついに完成に向けて動き出しました。

「仏作て魂入れず」の諺にあるように、町民にとつて真の健康増進施設になるために、「魂」を入れなければなりません。すなわち、どのように運用するかが議会に果たされた責務ではないでしょうか。

激動の世界経済に巻き込まれるかのように我が町の産業形態も大きく変貌しようとしています。

町民生活の安心安全を守ることが議会の最大の目的です。皆さんが頼れる議会を目指し、町政発展のため頑張ります。

友田 敬 而

議会広報特別委員会

委員長 井上修
副委員長 常山直
委員 小原美、木谷洋、榎田忠、友田敬、伊塚純、山口治

” ” ” ” ”